



弥富ふるさとガイド ボランティア



市の歴史・文化の理解を深める
ふるさとガイド活動

事業目的

- 市内の文化的史跡や施設などを活用し、弥富市の歴史・文化に対する理解を深め、ガイド活動を通じ、多くの方に市の歴史・文化・史跡等を広めることで、まちづくりに寄与する。

ガイド活動の概要

- 健康フェスティバルや、みんなでウォーキング等、市が行う各種事業で活動を行う
- 市内外のガイド依頼者・団体に対し、弥富市内の文化的史跡や施設等のガイド活動を行う
- 新規ガイド会員確保のためのガイド養成講座を行う
- 近隣のボランティア団体との交流により、ガイド技術の向上を図る

最近の主な活動実績

- 毎月第2木曜日に定例会・勉強会を実施
- 弥富市新規採用職員への史跡等ガイド
- 森津の藤まつりのガイド
- ガイド養成講座（4回実施）
- 健康フェスタへの参加
- みんなでウォーキングのガイド
- 小中学校の校外学習に協力
- 広報やとみに史跡等を紹介
- 近鉄ハイキング他の依頼によるガイド



森津の藤まつり（藍亭）のガイド



森津の藤のガイド



ガイド養成講座(立田輪中人造堰樋門)



毎日金魚すくい活動(市内ショッピングセンター)



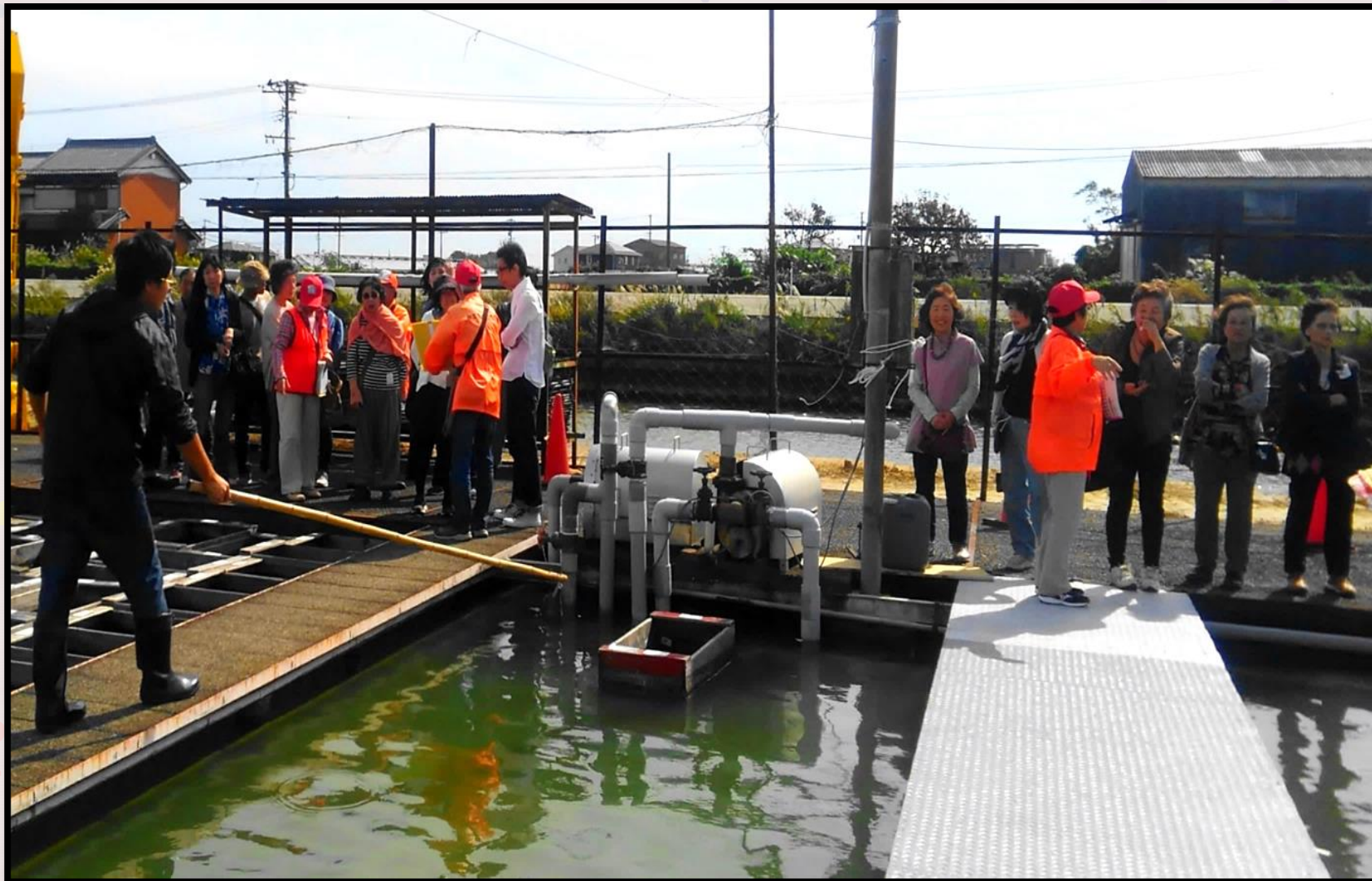
健康フェスタでの活動



健康フェスタでの展示物(1)



刈谷美術館金魚せり市ガイド



みんなでウォーキングのガイド(1)



みんなでウォーキングのガイド(2)



外部研修（蟹江町史跡巡り1）



外部研修（蟹江町史跡巡り2）



外部研修（安城市史跡巡り1）



外部研修（安城市史跡巡り2）



広報やとみへの掲載

やとみ

歴史探訪

このコーナーでは、弥富市の
まだまだ知られざる歴史について、
弥富ふるさとガイドボランティアが
紹介していきます。



明治の東海道(その1)

弥富のまちに東海道があったことをご存知ですか。国道1号ができる前のことです。明治5年、当時の政府は熱田と桑名の間の海路(七里の渡し)と、熱田と佐屋を結ぶ陸路(佐屋路)を廃止し、新たに熱田から福田を通り、十四山を経て前ヶ須に至る陸路を東海道に決めました。現在の歴史民俗資料館前の通りです。

すでに江戸時代の終わりに佐屋川の土砂の堆積により佐屋港が機能しなくなったことから、港を下流の弥富に移す計画がありましたが、幕末の混乱により中止されていました。明治になって佐屋宿の村田宗之助が県や政府に嘆願して新たなルートとして実現させたのです。前ヶ須の蓮如堂前には村田宗之助の墓碑が残されています。

東海道の宿駅となった前ヶ須は発展し、郡役所や警察署、郵便局が置かれ、料理旅館や商店が軒を並ねました。

(弥富ふるさとガイドボランティア)



▲桑名、長島への渡し場
「ふたつやの渡し」の碑

NEXT

次回から、東海道沿線の旧跡などを紹介していきます！

弥富の歴史再発見コース



上→興善寺地藏



服部家住宅(上→主屋、下→全景)



上→薬師寺大楠
下→同 鰐浦城址

下→紫々森



事業の効果

- 弥富市の文化的史跡や施設をガイドし、市のイベントなどに展示物を掲示することや、新規会員確保のためのガイド養成講座を行う事により、多くの市内外の方に、弥富市の歴史・文化・史跡を広めることができた。